

ちいきをつなぐ

みやぎボランティア総合センターから
ボランティア活動や防災活動、
福祉教育など
さまざまな情報を発信します

移動支援を通じて「外出」と「こころ」に寄り添う

特定非営利活動法人移動支援 Rera の取り組み
石巻市を拠点に、自宅と目的地の間を運送し外出を支援している非営利活動法人移動支援 Rera (以下「Rera」) は、単に自動車の運転をするだけでなく、必要に応じて乗り降りの介助、乗車中の見守り、目的地での付き添いなども行っています。今号では移動支援を通じて「こころ」に寄り添う移動支援ボランティア活動について紹介いたします。

【地域に潜在化している問題】

Rera は東日本大震災後、車の流出等により移動手段を失った地域の住民を、目的地まで送り届けるための「移送チーム」として活動を始めました。活動を続けるうちに、「被災による移動困難者」だけでなく、震災前から移動に困っていた方々の存在に気づきます。「地域にもともとあった課題が、震災によって浮き彫りになった。移動困難ゆえになかなか外に出てこないから目立たないだけ。地域で考えていかなければ…」と話してくださったのは、市内で牛乳販売店を営みながら活動に参加する成田さん。

過疎化の進む地方や都市の郊外では、通院や日常の買い物に困っている人が急増しています。大震災により大きな被害を受けた石巻市は、もともと家族や地域の助け合いによって「移動」や「外出」

を支えてきた地域。それが仮設住宅等への入居によって地域との関係性が断たれ、移動困難者となって表出してきたと言えます。

【「こころ」にも寄り添う】

Rera の移動支援を利用される方の中には、復興住宅での生活や身体の不調などをお話される方がいらつしやいます。これは地元のボランティアにだから話せる事。一方、震災を経験していない県外のボランティア「にだから話せる」ともあると言います。Rera のメンバーには、成田さんのような地元ボランティアの他、県外から時



▲送迎の様子。送迎車では入れない道も、ご自宅までしっかりお送りします。

間を見つけて定期的に活動される方、定年後「力仕事は体力的に厳しいけれど、車の運転なら…」と活動に協力される方等、様々な方がいます。

地元以外のボランティア継続に否定的な声もありますが、外部ボランティアは復興のペースが遅れている人たちにとって、話に耳を傾け「見守っていますよ」と伝え続けてくれる貴重な支援者です。一方、地元のボランティアは地域の支援団体等との繋がりを深め、地域で住民を支えるネットワークを作ってくれる。Rera の活動は移動支援だけでなく、様々な形で利用者の気持ちやこころに寄り添っています。

【支え合う地域をつくる】

この活動のやりがいについて、代表の村島さんは「必要とされている実感があがる。しかし、移動支援等を NPO やボランティアだけで担うことなく、行政や運送業に携わる事業所などが、いろいろな関わり方で地域を支えることが必要。」とおっしゃいます。今後さらに進展する高齢化、単身世帯の増加と社会的孤立の拡大に対応していくために、専門職や地元ボランティアが協働する。Rera の活動は、そんな地域づくりの大事な一端を担っています。今後も地域に寄り添った活動が期待されます。

宮城いきいき

ミニシアターだより

県内にお住まいの
元気ミニシアターのサポートクラブ

いきいき SUN クラブ活動

いきいき SUN クラブは平成3年に産声をあげました。とき折しも人生80年時代が本格化する中で、健康な高齢者の社会・経済への積極的な参加が求められる気運が社会に満ち満ちていました。

設立から23年が過ぎ、会員数は8月末日現在で3,018人(個人会員1,364人、夫婦会員1,654人)です。

平成26年度には年間約120本の行事を行い、4,290人の会員にご参加いただきました。その主な内容としては公演チケットの斡旋、日帰りバス旅行、各種講座の開催、調



▲夏まつりで講演の中村メイコさん



▲被災地支援ツアー-山元町

理の実習、宮城県内の協力施設の割引、宮交観光サービスの旅行の割引、COOPトラベルの山歩き旅の割引、各種サークル活動の支援、東日本大震災の被災地支援ツアー、会員感謝祭です。これらの催しは奇数月に配布される、SUNクラブニュースでお知らせしております。

会員感謝祭は1月と7月に開催される SUN クラブの大イベントで会場は東京エレクトロンホール宮城の大ホールです。中央からの著名人をお呼んでの講演会が目玉になり、今夏の「夏まつり」では女優の中村メイコさんをお呼んで「私の生き方」の演題でお話しをいただきました。80歳を過ぎた年齢でしたが、江戸っ子らしい年齢を感じさせないはきははしい口調で、ご自分のことやご家族のことやお友達の美空ひばりさんのこととお話になりました。会員の方々みんな感銘を受けてお帰りになっていただけました。

これから手品教室や粘土でトレ-Iを作る手作り教室などの講座を開催します。同年代の仲間とわいわいと楽しく何かやってみたくて思っている人は是非 SUN クラブ事務局までお問い合わせください。
(☎)022-223-1171

相談 Q&A

労働者のストレスチェック実施義務について

【相談】
労働安全衛生法の改正により導入されるストレスチェック制度では、事業所としてどのような取り組みが必要ですか？

【回答】
常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することが事業者の義務となり、平成27年12月に施行されます。ストレスチェックの実施が義務とされるのは、従業員数50人以上の事業場ですが、これは、産業医の選任義務が課されている事業場と同じ対象範囲です。なお、従業員数50人未満の事業場については、当分の間、ストレスチェックの実施が努力義務とされています。

検査結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者に提供することは禁止されます。

検査の結果、高ストレス者に該当する労働者から申出があった場合、医師による面接指導を実施することも事業者の義務となります。
また、事業者は面接指導の結果に基づ

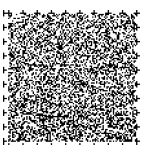
社会福祉施設経営相談の相談事例をご紹介します。

づき、医師の意見を聴き、必要に応じ就業上の措置を講じる事も義務となりますが、申出を理由とする不利益な取り扱いには禁止されます。

この制度によって、労働者自身のストレスへの気づきを促すとともに、衛生委員会等において、結果に基づき集団ごとの集計・分析を行うことで、労働者が働きやすい職場づくりにむけて、職場改善に活用することができます。

○社会福祉事業の経営相談に応じます○
土日祝祭日を除く9時から16時まで、主に電話・FAXで受け付けています。
一般相談の他、専門相談では、弁護士(法律)・公認会計士(会計)・社会保険労務士(労務)が対応します。専門相談員への相談は事前予約制となり、相談日時は、当センターで調整しますのでご連絡ください。相談は無料です。
※詳細は、本会ホームページを検索、または当センターへお問い合わせください。

総合相談センター
TEL 022-290-1210
FAX 022-715-8507



宮城県内の福祉施設・介護事業者向けの総合補償制度

宮城県地域福祉総合補償制度をご利用下さい

ポイント1

社会福祉協議会の会員である社会福祉施設、介護サービス事業者が加入できます。

ポイント2

地元宮城県で加入手続き・事故対応・その他アフターフォローを行いますので安心です。

ポイント3

団体制度のため、有利な団体割引が適用されます。(一部適用外)

ご不明の点はお問合せください!



お問合せ

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社オンワード・マエノ

TEL022-225-8476
TEL022-221-3171
TEL022-762-9915

※この制度の各補償は宮城県社会福祉協議会が保険会社と締結した保険約款により行います。

